

図書委員書評 ～後編～

- 2.メインテーマは殺人 アンソニー・ホロヴィッツ
- 3.ブロードキャスト 湊かなえ
- 4.どちらかが彼女を殺した 東野圭吾
- 5.タイムマシン ハーバート・ジョージ・ウェルズ
- 6.キノの旅 時雨沢恵一
- 7.マンガでわかる心理学 ポーポー・ポロダクション
- 8.バッテリー あさのあつこ
- 9.使用人探偵シズカ-横濱異人館殺人事件- 月原渉
- 10.羊と鋼の森 宮下奈都
- 11.がんばらない戦略 川下和彦
- 12.ももこのおもしろ健康手帖 さくらももこ
- 13.マスカレード・ホテル 東野圭吾
- 14.スパイ教室01《花園》のリリィ 竹町
- 15.木洩れ日に泳ぐ魚 恩田陸
- 16.そして誰もいなくなった アガサ・クリスティー
- 17.知らないと危険な英語表現 マシュー・D・キム
- 18.レ・ミゼラブル ヴィクトル・ユゴー
- 19.金閣寺 三島由紀夫
- 20.また、同じ夢を見ていた 住野よる
- 21.ジヴェルニーの食卓 原田マハ
- 22.幽霊人命救助隊 高野和明
- 23.どこよりも遠い場所にいる君へ 阿部暁子
- 24.名も無き世界のエンドロール 行成薫
- 25.文系と理系はなぜ分かれたのか 隠岐さや香
- 26.殺戮にいたる病 我孫子武丸
- 27.永遠の0 百田尚樹
- 28.永遠の0 百田尚樹
- 29.奇跡のリンゴ 石川拓治
- 30.阪急電車 有川浩

メインテーマは殺人

アンソニー・ホロヴィッツ

創元推理文庫

この本はミステリアスな本で、登場人物が非常に多く出てくるので推理小説を読み慣れている人はスラスラ読めるかもしれないがあまり読んだことがない人には少し難しいかもしれません。著者のアンソニー・ホロヴィッツ自身がこの本の主人公で、警察官の仕事仲間と事件の解決を目指し、作家としてのありのままの生き方が書かれていて、豊かな想像力を育むことができる本です。「その裁きは死」という同じ著者が書いた本があり、「メインテーマは殺人」の前に読むとさらに登場人物の関係性が知ることができ、それを先に読むとなお良いです。

中学3年1組

秋山 倖己

ブロードキャスト 湊かなえ

角川文庫

この作品の主人公は中学生の時に陸上部で全国大会を目指していました。しかし惜しくも全国大会にはいけませんでした。その後、陸上部が強い高校に入学するも、交通事故に遭い、入部を断念します。そんな時、中学校時代の同級生に、声がいいという理由で放送部に一緒に入ろうと誘われます。そして今度は放送部で全国大会を目指します。この本を読むことで部活が変わっても一生懸命頑張る主人公を見てやる気が湧いたりすると思います。

中学3年1組 大村 晃司

どちらかが彼女を殺した 東野圭吾

講談社

「どちらかが彼女を殺した」は、感電死した最愛の妹、和泉園子の死体を見つけた警察官である兄、康正が、「誰かに殺された」と直感し、現場を自殺したように偽装した上で、その重要な証拠を持ち去り、自ら犯人を捜し出して復讐しようとする話である。それを阻止しようとする巡査部長、加賀恭一郎。容疑者として浮かび上がったのは2人の男女。どちらが殺したのか、ドキドキワクワクの究極の推理小説。

中学3年2組 小松 颯人

タイムマシン

ハーバード・ジョージ・ウェルズ

角川文庫

この本のあらすじを簡単に説明すると、主人公のタイムトラベラーはタイムマシンを発明して約80万年後の未来へ旅行し、そこにいた2種類の人類に会います。しかし主人公はタイムマシンを取られてしまい、それを取り戻す為に努力する話です。

僕がこの話で面白いと思う所は、リアルタイムの出来事ではなく、主人公の体験談として語られている所です。これによって読者が実際に主人公の話を聞いているかのような気持ちになることができます。

とても面白かったので、ぜひ読んでみてください！

中学3年2組

藤崎 篤士

キノの旅 時雨沢恵一

電撃文庫

この小説は少女キノと喋るバイクのエルメス
が世界中のさまざまな国を訪ねて
その国に住むいろんな価値観や思いを持つ
人々とキノ達が出会い
キノ達がどんなことを感じどんな行動をする
のかが描かれた小説です
この小説の魅力はキノ達とその国に訪れたこ
とでその国の一人の住人が喜んだり悲しんだり
時には国を救ったり、滅ぼしたりなど毎回全
く予想できず読んでいる時にとってもワクワク
する点です。

中学3年4組 松本 倫

マンガでわかる心理学

ポーポー・ポロダクション

SBクリエイティブ

この本は、自分のことをもっとよく知り、対人関係で多くの問題を回避するのに欠かせない学問、つまり、心理学について事細かに説明してあります。

心理学の歴史からその種類、そして身の回りでどのように使われているかを、解説してくれます。一つ一つに面白おかしい漫画もついでおり、スラスラ読めます。内容もしっかりしており、わかりやすく、難しくないので読みやすいです。心理学に興味がある人などはすごく面白いと思います。

中学3年5組

佐藤 真亜珂

バッテリー あさのあつこ

角川つばさ文庫

ピッチャーとしての自分の才能を強く信じ、絶対の自信を持つ原田巧。中学入学を前に引っ越しした山間の町で、同じ歳とは思えない体のキャッチャー。永倉豪と出会う。2人なら最高のバッテリーになれるそんな思いが巧の胸を揺さぶる。誇り高き天才ピッチャーと、心を通わせようとするキャッチャー。大人をも動かす少年たちの物語！

中学3年5組 西田 明由

使用人探偵シズカ-横濱異人館殺人事件-

月原渉 新潮文庫

絵画の通りに人が次々と縊られてゆく…。ミステリーが好きなあなたへ日本の推理作家、月原渉の作品「使用人探偵シズカ-横濱異人館殺人事件-」(新潮社)を紹介させていただきます。

舞台となるのは明治時代、横濱異人館のひとつで名残館と呼ばれる洋館。そこに集った年齢も性別も違う6人の男女が連続殺人に巻き込まれていきます。

物語の謎を解くのはこの館に仕える使用人のシズカ。なんでも完璧にこなす彼女は、殺害を予言するかのような絵画に隠されたある仕掛けに挑みます。

この使用人探偵シズカシリーズは現在全5冊で、毎度巧妙なトリックと最後にはどんでん返しが。殺害方法に共通点も…。毎回舞台となる洋館と登場人物が変わるので、どの作品からでもおすすめです。

高校1年1組 原田 璃子

羊と鋼の森 宮下奈都

文春文庫

僕のおすすめするこの本は今まで読んできた中で一番綺麗な日本語で書かれています。おすすめできるポイントは2つです。一つ目はその場の風景や情景がとても丁寧な表現がされているところです。またとても美しい比喻表現で表されているのもあり、特に冒頭の「森のにおいがした」というところが大好きです。二つめは主人公の成長とともに描かれる心情の変化がすごく魅力的です。この本を読んで心が温かになること間違いなしです！

高校1年2組 藤田 涼太郎

がんばらない戦略 川下和彦

アスコム

何でも頑張っているが結果が出ない国、ガンバール国に住んでいるミサキが、あまり頑張っていないが良い結果が出ているガンバラン国を旅行をして沢山のことを学ぶ物語です。その国には人に会うたびに筋トレをする人、毎日同じ服を着ている家族など少し変わった人々が暮らしています。

私はこの本を読み、テストの成績が上がりました。読む前はただがむしゃらに勉強していましたがガンバラン国から学び最低限の力で勉強するようになりました。私はこれからもこの本を参考にしていこうと思います。

高校1年2組 森山 瑛里香

ももこのおもしろ健康手帖 さくらももこ

幻冬舎

ちびまるこちゃんの筆者であるさくらももこさんが今まで試した健康法をおもしろおかしく会話調で綴っています。

大ベストセラーになった「もものかんづめ」に載っている水虫の治療や「さるのこしかけ」の飲尿法など実際に誰でもできる(?)健康法も書いています。

さくらももこさんのエッセイはどれも面白いので是非読んでみてほしいです。

高校1年3組 福原 心寧

マスカレード・ホテル 東野圭吾

集英社文庫

この物語は、都内で起こった連続殺人事件から始まる。事件の被害者には何の繋がりもなく、容疑者も不明。事件現場に残されたメッセージから次の現場が一流ホテル・コルテシア東京だと予想した警察は、ホテルに捜査員を潜入させるという計画を実行する。潜入捜査員としてホテルマンに化けることになった刑事・新田浩介は、教育係のフロントクラークである山岸尚美と共に、事件の真相にたどり着くことができるのか。予想外の展開で、とても面白いミステリー小説です。

高校1年4組 内藤 和輝

スパイ教室01 《花園》のリリィ 竹町

富士見ファンタジア文庫

——その全てが嘘だった。

『灯』。死亡率9割の超難度任務を専門に行うそのスパイチームに、何故か配属されたスパイの養成学校では落第寸前の少女たち。

- ・7人で協力して生活すること
- ・外出時に本気を出すこと

2つの異色を放つルール。

『僕を倒せ』

1ヶ月後の任務に向け、彼女たちは自身を高めるために『灯』のボス、文字通り「世界最強のスパイ」であるクラウドに挑み続ける。

彼女らの嘘は何か？ そのルールの真意とは何か？

嘘に嘘をどこまでも重ねて、繰り広げられる騙し合い。

読者すらも彼女たちの嘘の掌の上なのだ。

高校1年5組 中村 紀紗良

木洩れ日に泳ぐ魚 恩田陸

文春文庫

作者の恩田陸は「夜のピクニック」と
「蜂蜜と遠雷」で本屋大賞を受賞した。
別れの日の前日の夜、あの男が死んだ日
の真相を巡って男と女の腹の探り合いが
はじまる。

この二人は一体「何」なのか。男はどちら
に殺されたのか。

そして二人の本当の関係は何なのか。
ページを捲る手が止まらない人続出。
女のほろ苦い思い出から次々に過去が紐
解かれていく展開に目が離せません。

高校1年5組 西田 結依

そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティー ハヤカワ文庫

皆さん、こちらの小説をご存知でしょうか？

そう、誰もが知っているであろうミステリーの大家アガサ・クリスティーの名作中の名作と言われる作品です。

この作品は孤島の兵隊島を舞台にして、10人の登場人物が童話「十人の小さな兵隊さん」の詩になぞらえて殺されていきます。

10人全員が死亡することで題名の『そして誰もいなくなった』を回収します。物語はエピローグに続き、警察の捜査では迷宮入りとなった後に真犯人による独白手記が見つかり、真相が明かされることで終結します。

本書の優れている点は、島にいる作中の人物たちや読者に、これから起こりつつある事が徐々に明らかになっていくことにあります。

とても面白い作品なので皆さんもぜひ読んでみてください。

高校1年6組 高地 翔吾

知らないと危険な英語表現

マシュー・D・キム

IBCパブリッシング

fワードは全部ダメな言葉なんでしょ？

A. いいえ

喜んでそうな話し方ならいいでしょ？

A. いいえ

世界共通語、f**k がついてるだけで全部ダメ？喜び、怒り、さらにな人を煽るような表現でも使われている。意味を知らず、悪口を言われてるかどうかすら気づかない人間は海を越えてやっていける？映画の世界でよく見るようなものから下品で受け入れられないようなものまで、学校じゃ見たこともないものが宝石のように溢れてる。外の世界に飛び込んでみたくなる一冊になる事間違いないし。

高校1年6組

宮地 章太郎

レ・ミゼラブル ヴィクトル・ユゴー

角川文庫

舞台は19世紀のフランスです。1つのパンを盗んだ罪で19年間投獄されていたジャン・バルジャンは仮釈放の時に、過去を捨て、善良な人間になることを決意します。そして、工場の経営者と市長を兼任していました。

その後、自分のせいで職を失ったファンティーヌと出会い、すでに病を患っていた彼女から娘コゼットを託されます。

コゼットを守り抜くと決意した彼の周りに起こる困難や革命を起こす民衆の壮大な物語です。

高校1年7組 坂本 那央

金閣寺 三島由紀夫

新潮文庫

「いつかお前を支配してやる。二度と私の邪魔をしに来ないように。必ずお前をわがものにしてやるぞ。」主人公の溝口がかつて理想的な美のシンボルとして「金閣寺」に想いを馳せる。一方、彼の人格が徐々に崩壊してゆく。その過程として、有為子への片思いとその死、障がい者柏木の固執した思考、親友鶴川の自殺、老師との確執が助長し、その終焉である理想的な美の壊滅へとつながっていく。そのエキセントリックな描写とエロティシズムが溝口の人格崩壊をリアルに表現していた。初めて読む三島文学の圧倒的な存在感を堪能できた。

高校1年7組 藤長 航大

また、同じ夢を見ていた 住野よる

双葉社

「幸せ」について考えたことはありますか。学校の授業で触れる程度や考えたことがないという人も中にはいると思います。この本をきっかけに「幸せ」について考えてみませんか。

変わった口癖を持つ菜ノ花は尻尾のちぎれた一匹の猫を初めとした様々な日に出会っていきます。それぞれが思い描く「幸せ」に触れながら彼女も自分の思う「幸せ」を見つけようとしています。

「君の臍臓をたべたい」の著者である住野よるさんの作品です。菜ノ花視点で表現されているため日記を読んでいるかのようにとても読みやすい一冊です。

高校2年2組 仲前 佳穂

シヴェルニーの食卓 原田マハ

集英社文庫

淡い色合いの中に浮かぶ睡蓮の花。おしゃれなカバーに惹かれて読んでみたが、とてもするすると読むことができた。

アンリ・マティスとパブロ・ピカソ、エドガー・ドガと彼のモデルになったバレエダンサー、ポール・セザンヌとタンギー爺さん、クロード・モネとジョルジュ・クレマンソー、それぞれの4組の関係が4つの短編として、彼らに関わっていた人物の視点で書き出されている。読んだ後は不思議とさわやかな気分になって、落ち着くことができた。

絵に関する知識がなくても問題なく読める。

高校2年2組 寶田 智裕

幽霊人命救助隊 高野和明

文藝春秋

なぜか奇妙な断崖にいる浪人生の高岡裕一。
その断崖の上には3人の男女がいた。老ヤクザ、気弱な中年男、アンニュイな若い女。実はこの4人、自殺した幽霊だった。

そこへ神と名乗る老人が現れた。神様によるとこの断崖は、地上と天国の中間地点と言った。天国行きの条件として7週間以内に自殺志願者100人の命を助けると命じた。

地上に戻った4人が繰り広げるその場その場で人に合わせた救助作戦。

この本を読んで、自分の考え方が大きく変わります。

高校2年2組 吉松 佳澄

どこよりも遠い場所にいる君へ 阿部暁子

集英社オレンジ文庫

ある秘密を抱えた月ヶ瀬和希は、知り合いのいない環境を求め離島の采岐島高校に進学した。采岐島には「神隠しの入り江」と呼ばれる場所があり、夏の初め、和希は神隠しの入り江で少女が倒れているのを発見する。病院で意識をとり戻した少女の名は七緒、16歳。そして、身元不明。入り江で七緒がつぶやいた「1974年」という言葉は？
本のいろんなところに伏線がはられていて、最初の方は分からなかったことが
どんどん繋がっていくので読んでいて飽きないです。

高校2年3組 有井 まどか

名も無き世界のエンドロール 行成薫

集英社文庫

「ラスト20分の真実。この世界の終わりに、あなたは心奪われる——。」というキャッチコピーで今年映画化された、「名も無き世界のエンドロール」。主人公のキダは、幼なじみのマコトが仕掛けるドッキリに毎回ひっかかってしまいます。そんな2人が、10年にも及ぶプロポーズ作戦を計画するストーリーです。私はこの小説だけでなく映画も観ましたが、大どんでん返しにとっても驚かされました。

そんな2人が小学五年生の時、ヨッチという訳アリの女の子が転校してきます。似た境遇の中を生きていた3人は、互いを支え合い家族のような関係に。ですが、そんな日々は長くは続きませんでした。24歳になったキダは、ある男の部屋に侵入し、その男の頭に銃を突きつけていました。キダは、表社会でのし上がるマコトとは真逆に、裏社会で「交渉屋」として生きていました。

高校2年3組 宮崎 真衣

文系と理系はなぜ分かれたのか

隠岐さや香 星海社

みなさんはなぜ文系と理系が分かれたのか気になったことはありませんか？海外の学校では文系と理系の区別が無い国もあります。ではなおさら文系と理系を区別する理由が無いのではないか。そんな疑問について、この本では文系と理系の成り立ちはもちろん、就職における文系理系の差や、性別における文系理系の差など、文系理系について幅広く書かれています。この本一冊で、文系理系の様々な疑問が解き明かしてくれます！

高校2年4組 奥村 明彦

殺戮にいたる病 我孫子武丸

講談社文庫

東京の繁華街で次々と猟奇的殺人を重ねるシリアルキラーが出現した。繰り返される身も凍る程の惨殺。その男はどうして人を殺めるに至ったのか。平凡だったはずの男の中に生じた小さな亀裂が、家庭を巻き込み、恐るべき闇の病理へと変貌する様を、元刑事、殺人犯、そしてその家族の三つの視点から残虐かつ鮮やかに描いています。冒頭から衝撃のラストシーンまでページをめくる手が止まらなくなるはずです。

高校2年4組 小畑 夢海

永遠の0 百田尚樹

講談社文庫

母を亡くしてから49日経った時主人公は父が
本当の父でないことが知らされる
そこで主人公は自分の本当の父を調べて行く
ことにした

その中で主人公は神風特攻隊について調査す
ることになった

調査していく中でわかることは？

この作品を読んでいく中で僕は戦時中で資源、
技術ともになかった日本で

特別攻撃で亡くなっている方達を見ながら自分
だけは生き残ろうとすることに対して少し思う
ことがありました

高校2年5組 木村 啓人

永遠の0 百田尚樹

講談社文庫

僕が今回紹介する本は永遠のゼロです。
この本はジャーナリストである姉に連れられて主人公は自分の祖父であり特攻で戦死した宮部久蔵という男について調べることになった。さまざまな人から話を聞いていくたびに宮部のいろいろな側面が明らかになっていく…

この本は主人公目線と祖父目線の話に分かれており話の切り替わりも分かり易く読みやすいです。話し手の心情が事細かに描写されており感情移入しやすいのも読みやすい理由のひとつだと思います。映画の方も更に面白いので是非一度読んでみて欲しい一冊です。

高校2年5組 西坂 友喜

奇跡のリンゴ 石川拓治

幻冬舎文庫

信念を持って1つのことをやり遂げるには、気の強くなるようなトライ&エラーがあった。それを我慢してやらせてくれた家族も素晴らしい。子供の給食費が払えなくなっても、お父さん頑張れという家族がいる。彼らは身をもって農薬の害を知っていればその応援だったのだろう。私たち消費者はマスコミにも振り回され、見た目と便利さだけを求めている、物事の本質を考えていない。これからは、皆で地球全体のことから考えなくてはいけない。

高校2年6組 坂本 航都

阪急電車 有川浩

幻冬舎文庫

この本は利用されたことのある方も多いかと思われ、 「阪急宝塚線」を舞台としていて宝塚線の駅名(8駅)を使った話が2セットずつ計16話で構成されています。

電車に乗り合わせただけの乗客の人生が少しずつ交差しそれぞれの物語が紡がれていく、そのようなお話です。

私にとってこの本は、ただ同じ電車に乗っただけの関係の何気ない会話で自分の人生が少し変わり、その会話をきっかけに交流が始まったり。日々のなにげない電車の車中にも人数分のドラマがあると改めて感じさせてくれた作品です。

高校2年6組 那須 航暉